



イエスさまとともにいるなら、おそれることはありません。

おきなさい。おそれることはない。(マタイ 17:7)



かみさまは、なんどもひとひとに「わたしをしんじなさい」といいました。それは、すばらしいことをあげたいとおもっていたからです。たとえば、アブラムに「ここをでて、たびにいきなさい」といいました。



アブラムはすぐにはわかりませんでした。かみさまをしんじてしゅっぱつしました。すると、おとしりだったつまのサラにあかちゃんがうまれました。そのこどものしんから、あとでイエスさまがうまれます。



ペトロ、ヤコブ、ヨハネも、イエスさまにやまへつれていかれたとき、イエスさまがひかっていて、びっくりしました。でもイエスさまはいいました。「おきなさい。おそれることはない。」イエスさまといっしょなら、こわくありません。



ミゲルというおとこのこが、コロンビアにすんでいました。ミゲルは「あいのサイコロ」をつかうばしょにかよってました。ひさしぶりにいくと、ともだちにあえてとてもよろこびました。



みんなであそんでいるとき、ミゲルがわるいことばをいってしまいました。みんなはびっくりして、「ここではそんなことばはつかわないよ。あいのサイコロのいうとおりになっているから。」といいミゲルははずかしくなり、もうあそんでもらえないかもとおもって、こわくなりました。



すると、ひとりのこがえがおで「あいのサイコロ」をみせてくれました。ミゲルはたいせつなことをおもいだしました。そして「ごめんなさい」をいって、またやさしいきもちになりました。